

## ② 自然教育園における 2013 年～2016 年の 昆虫類調査の状況と報告

井上暁生\*・須田研司\*

Research report of insects for Nature Study, Tokyo, 2013-2016

Akeo Inoue\*, Kenji Suda\*

### はじめに

自然教育園は白金長者の館に由来し、開発によって都区内では失われた環境が今も多く保存されており、史跡および天然記念物にも指定されている。そのため開発等で消失することなく古からの良好な環境が保たれており、都区内では稀少となったオニヤンマやゲンジボタルなどの昆虫も生息している。

自然教育園における昆虫調査は、地下鉄の開通に伴い、その地下経路上にある本園の環境にどのような影響があるかを調べる目的で、トンボ等指標となる昆虫を定めて発生等の調査がされてきた経緯がある。しかし、近年は工事に伴う影響は安定しており、2013年～2016年は広く昆虫相を解明する方向で調査を行ってきた。

自然教育園の昆虫相を明らかにすることは、かつての東京都区部の生態系を解明する上でも重要な役割を果たすと考えられ、継続した調査は重要かつ不可欠である。

### 調査地と調査方法

調査は東京都港区白金台（一部は品川区大崎）に位置する国立科学博物館附属自然教育園で2013年4月から2016年10月までの期間に行った。冬季を除く春～秋までの期間で週に1回程度（ゲンジボタルの発生時期のみ週に2回）、主に園内を周回しての目視確認と、採集し現地で種を確認後にリリースする方法で調査を行った。

園路外の林内やサンショウウオ沢などの一般立ち入り禁止区域についても同様に調査を行っている。昆虫は時期によって出現する種や場所、頻度も異なるため、調査ルートは固定せずに園内を周回して行った。また、夜間に教育管理棟の照明に誘引されたものなども確認種に含まれている。

なお、園内は昆虫を含む生き物の採集が禁止されており、調査は基本的に現地で同定できる種を対象としているため、標本の精査が必要な小型種などは含まれていない。

---

\*むさしの自然史研究会, The Musashino natural history society

## 調 査 結 果

本調査では11目103科314種の昆虫が確認された。確認種のリストは以下の通りである。記録は種名(和名・学名)と確認年を示してある。なお、前述の通りこれらは主に現地で種判別できるものであり、採集して標本を調べて同定する必要がある種をきちんと調査すれば自然教育園内の昆虫は1,000種近いと思われる。

## 2013年～2016年 自然教育園昆虫調査 確認種リスト

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
蜻蛉目	アオイトトンボ科	ホソミオツネイトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>				●	東: NT
蜻蛉目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>			●		東: VU
蜻蛉目	イトトンボ科	クロイトトンボ	<i>Paracercion calamorum</i>		●	●	●	
蜻蛉目	イトトンボ科	アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	●		●	●	
蜻蛉目	ヤンマ科	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>			●	●	東: EN / 環: NT
蜻蛉目	ヤンマ科	マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	●		●	●	
蜻蛉目	ヤンマ科	ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	サナエトンボ科	ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>			●		
蜻蛉目	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	●	●	●	●	東: NT
蜻蛉目	ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	<i>Ephthalma elegans</i>	●		●	●	
蜻蛉目	トンボ科	チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>	●	●		●	東京 RDB: NT
蜻蛉目	トンボ科	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	●			●	
蜻蛉目	トンボ科	ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	●				
蜻蛉目	トンボ科	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	トンボ科	コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha</i>			●		
蜻蛉目	トンボ科	マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum</i>		●	●		
蜻蛉目	トンボ科	コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	トンボ科	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	トンボ科	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	トンボ科	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum</i>	●	●	●	●	
蜻蛉目	トンボ科	オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	●	●	●	●	
ゴキブリ目	ゴキブリ科	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	●				
ゴキブリ目	ゴキブリ科	ヤマトゴキブリ	<i>Periplaneta japonica</i>	●			●	
蟻螂目	カマキリ科	ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i>		●			東: DD
蟻螂目	カマキリ科	ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>		●	●	●	
蟻螂目	カマキリ科	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>	●	●	●	●	
蟻螂目	カマキリ科	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>	●	●	●	●	
直翅目	コロギス科	コロギス	<i>Prosopogryllacris japonica</i>				●	
直翅目	カマドウマ科	マダラカマドウマ	<i>Diestrammena japonica</i>			●	●	

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
直翅目	キリギリス科	ヒガシキリギリス	<i>Gampsocleis mikado</i>				●	
直翅目	キリギリス科	クビキリギリス	<i>Euconocephalus thunbergi</i>		●	●	●	
直翅目	キリギリス科	ササキリ	<i>Conocephalus melaenus</i>			●	●	
直翅目	キリギリス科	ハヤシノウマオイ	<i>Hexacentrus japonicus</i>		●	●	●	
直翅目	ツユムシ科	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>		●	●		
直翅目	ツユムシ科	セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>			●	●	
直翅目	ツユムシ科	サトクダマキモドキ	<i>Holochlora japonica</i>			●	●	
直翅目	コオロギ科	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>		●	●	●	
直翅目	コオロギ科	モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>			●	●	
直翅目	コオロギ科	ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>	●		●	●	
直翅目	マツムシ科	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	●	●	●	●	
直翅目	マツムシ科	クチキコオロギ	<i>Duolandrevus ivani</i>				●	
直翅目	ヒバリモドキ科	キンヒバリ	<i>Natula matsurai</i>				●	
直翅目	ヒバリモドキ科	キアシヒバリモドキ	<i>Trigonidium japonicum</i>			●	●	
直翅目	カネタタキ科	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>	●	●	●	●	
直翅目	ケラ科	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>				●	
直翅目	ノミバッタ科	ノミバッタ	<i>Xya japonica</i>			●		
直翅目	ヒシバッタ科	ヒシバッタの一種	<i>Tetrix sp.</i>			●		
直翅目	オンブバッタ科	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>				●	
直翅目	バッタ科	コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	●	●	●	●	
直翅目	バッタ科	ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>	●	●	●	●	
直翅目	バッタ科	トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>	●				
ナナフシ目	ナナフシ科	エダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>				●	
ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシ	<i>Baculum irregulariterdentatum</i>	●	●	●	●	
ナナフシ目	ナナフシ科	ニホントビナナフシ	<i>Micadina phluctainoides</i>		●			
半翅目	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ	<i>Losbanosia hibarensis</i>		●			
半翅目	ハネナガウンカ科	マエグロハネナガウンカ	<i>Zoraida pterophoroides</i>				●	
半翅目	アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	●	●	●	●	
半翅目	ハゴロモ科	スケバハゴロモ	<i>Euricania facialis</i>				●	
半翅目	セミ科	ニイニゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	●	●	●	●	
半翅目	セミ科	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>				●	
半翅目	セミ科	アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	●	●	●	●	
半翅目	セミ科	ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>	●	●	●	●	
半翅目	セミ科	ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>	●	●	●	●	
半翅目	セミ科	ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>	●	●	●	●	
半翅目	ツノゼミ科	トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>				●	
半翅目	ミミズク科	ミミズク	<i>Ledra auditura</i>			●		
半翅目	ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	●	●	●	●	
半翅目	アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>		●	●	●	東：CR
半翅目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum</i>	●	●	●	●	
半翅目	アメンボ科	ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>		●	●	●	

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
半翅目	アメンボ科	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>		●	●	●	東: NT
半翅目	サシガメ科	アカシマサシガメ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>				●	
半翅目	サシガメ科	アシマダラアカサシガメ	<i>Haematoloecha rubescens</i>			●		
半翅目	サシガメ科	ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>		●	●	●	
半翅目	サシガメ科	ヒゲナガサシガメ	<i>Serendiba staliana</i>				●	
半翅目	サシガメ科	シマサシガメ	<i>Sphedanolestes impressicollis</i>				●	
半翅目	サシガメ科	ヤニサシガメ	<i>Velinus nodipes</i>		●			
半翅目	サシガメ科	クロモンサシガメ	<i>Peirates turpis</i>		●	●		
半翅目	サシガメ科	クロトビイロサシガメ	<i>Oncocephalus breviscutum</i>			●	●	
半翅目	オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>				●	
半翅目	ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>				●	
半翅目	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>		●	●	●	
半翅目	ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	<i>Acanthocoris sordidus</i>				●	
半翅目	ヘリカメムシ科	ハリカメムシ	<i>Cletus rusticus</i>		●	●	●	
半翅目	ヘリカメムシ科	キバラヘリカメムシ	<i>Plinactus bicoloripes</i>	●	●	●	●	
半翅目	ヘリカメムシ科	オオクモヘリカメムシ	<i>Anacanthocoris stricornis</i>		●	●	●	
半翅目	ヘリカメムシ科	ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>		●	●	●	
半翅目	クヌギカメムシ科	クヌギカメムシの一種	<i>Urostylis sp.</i>				●	
半翅目	マルカメムシ科	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>	●	●	●	●	
半翅目	ツチカメムシ科	ヨコヅナツチカメムシ	<i>Adrisa magna</i>	●	●	●	●	
半翅目	ツチカメムシ科	ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>	●	●	●	●	
半翅目	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>		●		●	
半翅目	カメムシ科	チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>	●	●	●	●	
半翅目	カメムシ科	クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>		●	●	●	
半翅目	カメムシ科	シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>				●	
半翅目	カメムシ科	ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>			●		
半翅目	カメムシ科	アカスジカメムシ	<i>Graphosoma rubrolineatum</i>		●	●	●	
半翅目	ツノカメムシ科	セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>		●		●	
半翅目	ツノカメムシ科	オオツノカメムシ	<i>Anaxandra gigantea</i>				●	
半翅目	ツノカメムシ科	エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>		●	●	●	
脈翅目	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	<i>Hagenomyia micans</i>		●		●	
鞘翅目	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i>		●			
鞘翅目	ハンミョウ科	トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cylindera kaleea</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	ハンミョウ科	コハンミョウ	<i>Myriochila speculifera</i>	●				東: NT
鞘翅目	オサムシ科	アオオサムシ	<i>Carabus insulicola</i>		●		●	
鞘翅目	オサムシ科	マルガタゴミムシの一種	<i>Amara sp.</i>	●				
鞘翅目	オサムシ科	ババゴモクムシ	<i>Harpalus babai</i>				●	
鞘翅目	オサムシ科	アオゴミムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>		●	●	●	
鞘翅目	クビボソゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	<i>Brachinus scotomedes</i>			●	●	
鞘翅目	クビボソゴミムシ科	ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsofus jessoensis</i>		●	●	●	東: CR
鞘翅目	ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes sticticus</i>			●		

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
鞘翅目	シデムシ科	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	クワガタムシ科	クワガタ	<i>Dorcus rectus</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	クワガタムシ科	ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus</i>	●	●	●	●	東：NT
鞘翅目	センチコガネ科	センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>			●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	ナガチャコガネ	<i>Heptophylla picea</i>			●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	クロコガネ	<i>Holotrichia kiotonensis</i>			●		
鞘翅目	コガネムシ科	コクロコガネ	<i>Holotrichia picea</i>			●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	コフキコガネ	<i>Melolontha japonica</i>	●		●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	オオキイロコガネ	<i>Pollaplonyx flavidus</i>	●				
鞘翅目	コガネムシ科	コイチャコガネ	<i>Adoretus tenuimaculatus</i>	●	●		●	
鞘翅目	コガネムシ科	アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	セマダラコガネ	<i>Exomala orientalis</i>		●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis</i>		●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	ヒメトラハナムグリ	<i>Lasioletrichius succinctus</i>			●		
鞘翅目	コガネムシ科	ハナムグリ	<i>Cetonia pilifera</i>				●	東：CR
鞘翅目	コガネムシ科	コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	シラホシハナムグリ	<i>Protaetia brevitarsis</i>			●	●	東：EX
鞘翅目	コガネムシ科	シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	リュウキュウツヤハナムグリ	<i>Protaetia pryeri</i>				●	鞘翅のみ
鞘翅目	コガネムシ科	カナブン	<i>Rhomborrhina japonica</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	カブトムシ	<i>Trypoxylus dichotomus</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	コガネムシ科	コカブトムシ	<i>Eophileurus chinensis</i>	●		●		東：VU
鞘翅目	ナガハナノミ科	ヒゲナガハナノミ	<i>Paralichas pectinatus</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	タマムシ科	ムツボシタマムシ	<i>Chrysobothris succedanea</i>		●			
鞘翅目	タマムシ科	ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima</i>				●	東：NT / 鞘翅のみ
鞘翅目	タマムシ科	ヒシモンナガタマムシ	<i>Agrilus discalis</i>		●	●		
鞘翅目	タマムシ科	クズノチビタマムシ	<i>Trachys auricollis</i>	●		●	●	
鞘翅目	コメツキムシ科	ヒゲコメツキ	<i>Pectocera hige</i>	●	●		●	
鞘翅目	コメツキムシ科	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus</i>	●	●		●	
鞘翅目	コメツキムシ科	オオクシヒゲコメツキ	<i>Tetrigus lewisi</i>			●		
鞘翅目	コメツキムシ科	シモフリコメツキ	<i>Actenicerus pruinosis</i>		●	●	●	
鞘翅目	ホタル科	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	●	●	●	●	東：EN
鞘翅目	カツオブシムシ科	ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>			●		
鞘翅目	カッコウムシ科	イガラシカッコウムシ	<i>Falsotillus igarashii</i>				●	
鞘翅目	ケシキスイ科	ヨツボシケシキスイ	<i>Librodor japonicus</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	オオクスイムシ科	ヨツボシオオクスイ	<i>Helota gemmata</i>			●	●	
鞘翅目	テントウムシ科	ヒメアカボシテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>		●	●		
鞘翅目	テントウムシ科	ベニヘリテントウ	<i>Rodolia limbata</i>			●		
鞘翅目	テントウムシ科	カメノコテントウ	<i>Aiolocaria hexaspilota</i>		●	●	●	
鞘翅目	テントウムシ科	シロジュウシホシテントウ	<i>Calvia quatuordecimguttata</i>				●	

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
鞘翅目	テントウムシ科	ムーアシロホシテントウ	<i>Calvia muii</i>				●	
鞘翅目	テントウムシ科	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>		●		●	
鞘翅目	テントウムシ科	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tredecimpunctata</i>				●	
鞘翅目	テントウムシ科	キイロテントウ	<i>Illeis koebelei</i>		●	●	●	
鞘翅目	テントウムシ科	ダンダラテントウ	<i>Menochilus sexmaculatus</i>		●		●	
鞘翅目	テントウムシ科	ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	テントウムシ科	トホシテントウ	<i>Epilachna admirabilis</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	ゴミムシダマシ科	スナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum japanum</i>			●		
鞘翅目	ゴミムシダマシ科	ナガニジゴミムシダマシ	<i>Ceropria induta</i>				●	
鞘翅目	ゴミムシダマシ科	ユミアシゴミムシダマシ	<i>Promethis valgipes</i>	●		●	●	
鞘翅目	ゴミムシダマシ科	キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus</i>	●	●		●	
鞘翅目	カミキリモドキ科	ツマグロカミキリモドキ	<i>Nacerdes melanura</i>		●			
鞘翅目	カミキリモドキ科	アオカミキリモドキ	<i>Nacerdes waterhousei</i>	●	●		●	
鞘翅目	アカハネムシ科	ムナビロアカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa laticollis</i>				●	
鞘翅目	アカハネムシ科	アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>				●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ウスバカミキリ	<i>Megopsis sinica</i>	●	●	●	●	東: NT
鞘翅目	カミキリムシ科	ヒナルリハナカミキリ	<i>Dinoptera minuta</i>		●			
鞘翅目	カミキリムシ科	ヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata</i>	●	●	●	●	東: CR
鞘翅目	カミキリムシ科	チャイロヒメハナカミキリ	<i>Pidonia aegrota</i>		●	●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	キマダラカミキリ	<i>Aeolesthes chrysothrix</i>		●		●	東: NT
鞘翅目	カミキリムシ科	ミヤマカミキリ	<i>Massicus raddei</i>	●			●	東: VU
鞘翅目	カミキリムシ科	テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum</i>		●			
鞘翅目	カミキリムシ科	フタオビドリトラカミキリ	<i>Chlorophorus muscosus</i>			●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ヨツスジトラカミキリ	<i>Chlorophorus quinquefasciatus</i>			●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta</i>		●	●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	トガリバアアカネトラカミキリ	<i>Anaglyptus niponensis</i>		●	●	●	東: NT
鞘翅目	カミキリムシ科	カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa hirsuta</i>	●			●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ナガゴマフカミキリ	<i>Mesosa longipennis</i>	●	●		●	
鞘翅目	カミキリムシ科	シナノクロフカミキリ	<i>Asaperda agapanthina</i>		●			
鞘翅目	カミキリムシ科	ヒシカミキリ	<i>Microlera ptinoides</i>				●	
鞘翅目	カミキリムシ科	アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>		●			
鞘翅目	カミキリムシ科	アトジロサビカミキリ	<i>Pterolophia zonata</i>			●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ピロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatorix</i>	●	●			
鞘翅目	カミキリムシ科	ニセピロウドカミキリ	<i>Acalolepta sejuncta</i>				●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ヒメヒゲナガカミキリ	<i>Monochamus subfasciatus</i>	●	●		●	東: EN
鞘翅目	カミキリムシ科	キボシカミキリ	<i>Psacotheta hilaris</i>			●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	ヤハズカミキリ	<i>Uraecha bimaculata</i>	●			●	
鞘翅目	カミキリムシ科	クワカミキリ	<i>Apriona japonica</i>			●	●	
鞘翅目	カミキリムシ科	トゲバカミキリ	<i>Rondibilis saperdina</i>				●	
鞘翅目	カミキリムシ科	キクスイカミキリ	<i>Phytoecia rufiventris</i>	●	●	●	●	

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
鞘翅目	ハムシ科	ルリクビボソハムシ	<i>Lema cirsiicola</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	アカクビナガハムシ	<i>Lilioceris subpolita</i>		●		●	
鞘翅目	ハムシ科	バラルリツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>		●			
鞘翅目	ハムシ科	アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchii</i>	●	●		●	
鞘翅目	ハムシ科	ヤナギハムシ	<i>Chrysomela vigintipunctata</i>		●			
鞘翅目	ハムシ科	ヤナギルリハムシ	<i>Plagioderia versicolora</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	ハムシ科	ハンノキハムシ	<i>Agelastica coerulea</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	ウリハムシ	<i>Aulacophora femoralis</i>			●		
鞘翅目	ハムシ科	クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	ハムシ科	イタドリハムシ	<i>Gallerucida bifasciata</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	アトボシハムシ	<i>Paridea angulicollis</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	ヘリグロテントウノミハムシ	<i>Argopistes coccinelliformis</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	ヒメカメノコハムシ	<i>Cassida piperata</i>				●	
鞘翅目	ハムシ科	アオカメノコハムシ	<i>Cassida rubiginosa</i>	●	●	●	●	
鞘翅目	ヒゲナガゾウムシ科	エゴヒゲナガゾウムシ	<i>Exechesops leucopis</i>			●	●	
鞘翅目	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>		●		●	
鞘翅目	オサゾウムシ科	トホシオサゾウムシ	<i>Aplotes roelofsi</i>		●			
鞘翅目	ゾウムシ科	シュロゾウムシ	<i>Derelomus uenoi</i>				●	
鞘翅目	ゾウムシ科	ヒゲボソゾウムシの一種	<i>Phyllobius</i> sp.				●	
鞘翅目	ゾウムシ科	コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>	●		●	●	
鞘翅目	ゾウムシ科	オジロアシナガゾウムシ	<i>Mesalciodes trifidus</i>		●	●	●	
膜翅目	ミフシハバチ科	チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i>			●	●	
膜翅目	ミフシハバチ科	ルリチュウレンジ	<i>Arge similis</i>	●			●	
膜翅目	ハバチ科	ホシアシプトハバチ	<i>Agenocimbex maculatus</i>				●	
膜翅目	ハバチ科	ハバチ属の一種	<i>Athalia</i> sp.				●	
膜翅目	コマユバチ科	ヒメウモノオバチ	<i>Euurobracon breviterebrae</i>				●	
膜翅目	コマユバチ科	ウモノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i>	●				東：NT / 環：NT
膜翅目	セイボウ科	セイボウ科の一種	<i>Chrysididae</i> sp.		●			
膜翅目	ツチバチ科	キンケハラナガツチバチ	<i>Campsomeris prismatica</i>	●		●	●	
膜翅目	アリ科	アミアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>				●	
膜翅目	アリ科	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>	●	●	●	●	
膜翅目	アリ科	クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	スズメバチ	<i>Oreumenes decoratus</i>	●				
膜翅目	スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia indica</i>				●	
膜翅目	スズメバチ科	セグロアシナガバチ	<i>Polistes jokahamae</i>			●	●	
膜翅目	スズメバチ科	キアシナガバチ	<i>Polistes rothneyi</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	コガタスズメバチ	<i>Vespa analis</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	ヒメスズメバチ	<i>Vespa ducalis</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarina</i>	●	●	●	●	
膜翅目	スズメバチ科	キロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>	●	●	●	●	

目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
膜翅目	スズメバチ科	クロスズメバチ	<i>Vespa flaviceps</i>		●	●	●	
膜翅目	ミツバチ科	キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata</i>	●	●	●	●	
膜翅目	ミツバチ科	ニホンミツバチ (トウヨウミツバチ)	<i>Apis cerana</i>	●	●	●	●	
膜翅目	ミツバチ科	セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	●	●	●	●	
膜翅目	ミツバチ科	コマルハナバチ	<i>Bombus ardens</i>	●	●	●	●	
膜翅目	コシブトハナバチ科	ニッポンヒゲナガハナバチ	<i>Eucera nipponensis</i>				●	
双翅目	ガガンボ科	ベッコウガガンボ	<i>Dictenidia pictipennis</i>				●	
双翅目	ツリアブ科	ピロウドツリアブ	<i>Bombylius major</i>			●	●	
双翅目	ツリアブ科	クロバネツリアブ	<i>Ligyra tantalus</i>	●	●	●	●	
双翅目	ムシヒキアブ科	シオヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>	●	●	●	●	
双翅目	ムシヒキアブ科	マガリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>	●	●	●	●	
双翅目	ハナアブ科	クロベッコウハナアブ	<i>Volucella nigricans</i>		●	●	●	
双翅目	ベッコウバエ科	ベッコウバエ	<i>Dryomyza formosa</i>			●		
双翅目	ヒゲトコバエ科	クロメトイ	<i>Cryptochetum nipponense</i>		●			
鱗翅目	ヒゲナガガ科	ホンオビヒゲナガガ	<i>Nemophora aurifera</i>				●	
鱗翅目	ハマキガ科	ピロードハマキ	<i>Cerace xanthocosma</i>				●	
鱗翅目	スカシバガ科	オオモフトスカシバ	<i>Melittia sangaica</i>		●	●	●	
鱗翅目	スカシバガ科	モモフトスカシバ	<i>Macroscelesia japona</i>	●				
鱗翅目	マダラガ科	ホタルガ	<i>Pidorus glaucopis</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	セミヤドリガ科	セミヤドリガ	<i>Epipomponia nawai</i>				●	
鱗翅目	マドガ科	マドガ	<i>Thyris usitata</i>			●	●	
鱗翅目	ツトガ科	マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>				●	
鱗翅目	シャクガ科	トンボエダシャク	<i>Cystidia stratonice</i>				●	
鱗翅目	シャクガ科	スカシエダシャク	<i>Krananda semihyalina</i>				●	
鱗翅目	シャクガ科	エグリヅマエダシャク	<i>Odontopera arida</i>				●	
鱗翅目	シャクガ科	ウスキツバメエダシャク	<i>Ourapteryx nivea</i>				●	
鱗翅目	カイコガ科	クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>		●		●	
鱗翅目	スズメガ科	オオスカシバ	<i>Cephonodes hylas</i>			●	●	
鱗翅目	スズメガ科	ホシヒメホウジャク	<i>Neogurelca himachala</i>				●	
鱗翅目	スズメガ科	キイロスズメ	<i>Theretra nessus</i>			●		
鱗翅目	スズメガ科	ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	ドクガ科	チャドクガ	<i>Arma pseudoconspersa</i>				●	
鱗翅目	ドクガ科	キアシドクガ	<i>Ivela auripes</i>			●	●	
鱗翅目	カノコガ科	カノコガ	<i>Amata fortunei</i>	●		●		
鱗翅目	ヤガ科	アケビコノハ	<i>Eudocima tyrannus</i>			●	●	
鱗翅目	ヤガ科	トビイロトラガ	<i>Sarbanissa subflava</i>				●	
鱗翅目	セセリチョウ科	キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus</i>			●	●	
鱗翅目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ	<i>Byasa alcinous</i>			●		
鱗翅目	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	●	●	●	●	



目	科	和名	学名	2013	2014	2015	2016	備考
鱗翅目	アゲハチョウ科	キアゲハ	<i>Papilio machaon</i>		●	●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	モンキアゲハ	<i>Papilio helenus</i>			●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	クロアゲハ	<i>Papilio protenor</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus</i>				●	東：CR+EN /
鱗翅目	アゲハチョウ科	ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	アゲハチョウ科	カラスアゲハ	<i>Papilio bianor</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シロチョウ科	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シロチョウ科	モンキチョウ	<i>Colias erate</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シロチョウ科	スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>			●	●	
鱗翅目	シロチョウ科	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シロチョウ科	ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i>		●		●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ムラサキシジミ	<i>Narathura japonica</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ムラサキツバメ	<i>Narathura bazalus</i>		●	●		
鱗翅目	シジミチョウ科	アカシジミ	<i>Japonica lutea</i>	●	●	●	●	東：DD
鱗翅目	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata</i>	●	●	●	●	東：CR+EN
鱗翅目	シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シジミチョウ科	トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>	●	●		●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas</i>		●		●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ツバメシジミ	<i>Everes argiades</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	シジミチョウ科	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	テングチョウ	<i>Libythea celtis</i>		●		●	
鱗翅目	タテハチョウ科	アサギマダラ	<i>Parantica sita</i>		●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia</i>		●	●		
鱗翅目	タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	コミスジ	<i>Neptis sappho</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	キタテハ	<i>Polygonia c-aureum</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	ルリタテハ	<i>Kaniska canace</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>	●	●			
鱗翅目	タテハチョウ科	ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>				●	
鱗翅目	タテハチョウ科	ゴマダラチョウ	<i>Hestina persimilis</i>		●		●	
鱗翅目	タテハチョウ科	アカボンゴマダラ	<i>Hestina assimilis</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama</i>	●	●	●	●	
鱗翅目	タテハチョウ科	コジャノメ	<i>Mycalesis francisca</i>			●	●	

※備考欄注釈

東：東京都レッドデータブック・区部／環：環境省レッドリスト

EX：絶滅／CR：絶滅危惧 IA 類／EN：絶滅危惧 IB 類／VU：絶滅危惧 II 類／NT：準絶滅危惧／DD：情報不足

ここから、上記リストの確認種のうち筆者が調査を行うようになってから新たに確認された種の一部や、今後注目していきたい種を挙げておく。各種の確認された日および地点を示したが、複数確認された場合はそのうち一例を挙げた。

ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys, 1853)

東京都 RDB : 区部 VU

2015年7月24日の調査でイモリの池と武蔵野植物園の間の園路で1♂が確認され、2016年にも来園者によって目撃されている。金緑色の体と黒いはねをもつ美しいトンボで、あまり大きくない河川の川辺でよく見られる。ヒラヒラと舞うように羽ばたきながら飛翔する。水辺で多く見られるが大きく移動するものもあり、川から離れた林の中で目撃されることもある。目立つ種でありながら過去に記録はないため園内に生息している可能性は低く、発生地を離れた個体が園内に紛れ込んだものと思われる。

アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* (Selys, 1883)

東京都 RDB : 区部 EN / 環境省 RDB : NT

2015年6月16日に水生植物園で高所に止まる個体を確認したほか、2016年にも1頭を捕獲して確認している。ヨシやガマなど背丈の高い抽水植物の繁茂する池や湿地に生息するヤンマで、全国的に減少している種。目撃・確認頻度の低さから、園内で一時的な発生をする可能性はあるが、繁殖はしていないものと思われる。

ウチワヤンマ *Sinictinogomphus clavatus* (Fabricius, 1775)

2015年7月31日に水生植物園にて1♂が確認された。色と黒の体で、腹の先がウチワのように広がっている。ヤンマと付くがサナエトンボの仲間で、日当たりの良い広い池に生息し、自然教育園ではごく稀に目撃される。過去にも記録はあるものの稀であり、園内では繁殖はしておらず、外からの偶発的な飛来と考えられる。

ヒガシキリギリス *Gampsocleis mikado* (Burr, 1899)

2016年7月30日に水生植物園の草地で1♂が確認されたほか、2015年にも来園者によって目撃されている。「チョン・ギース」と大きな声で鳴く有名な種で、日当たりの良い草地に生息する。以前はキリギリスと呼ばれていたが、西日本の個体群と別種であることが分かり、東日本のものはヒガシキリギリスの名前になった。

非常に目立つ種でありながら過去の調査での確認例もなく、近隣に自然繁殖地もないことから人為的な放虫と思われる。

クチキコオロギ *Duolandrevus ivani* (Gorochoy, 1988)

2016年10月21日ほか、路傍植物園～水生植物園の園路で確認された。体長に変異があり、最大ではエンマコオロギを超えるほどの大型種で、コオロギと名が付くがマツムシに近い。主に照葉樹林に生息し、樹皮下や岩の割れ目などに隠れ、夜間に活動する。本州南部以南に生息し、自然教育園は分布域としてはかなり北部である。秋期の夜間に路傍植物園～水生植物園あたりの道を丁寧に見るとモリオカメコオロギやツツレサセコオロギ等に混じって確認できるが、個体数はあまり多くない。

キアシヒバリモドキ *Trigonidium japonicum* (Ichikawa 2001)

2015年6月5日ほか、水生植物園や園路外の草地などで確認されている。黒い体に黄色い脚を持つ小型の直翅類。キンヒバリなど鳴く虫の仲間であるが、本種は鳴かない。体長数ミリと小型のため注意していなければ気付かず、確認しづらい種である。

ヒナカマキリ *Amantis nawai* (Shiraki, 1911)

2014年9月26日に教育管理棟の壁面に付いていた個体を確認している。成虫になっても痕跡的なはねしかもたない小型のカマキリで、照葉樹林の林床に生息している。成虫になっても体長2cmほどと小型で、林床に生息している上に褐色と非常に目立たないため、生息していても見つけづらい種である。飛翔しないため移動力は低く、園内で繁殖していると思われるが、上記の理由から確認は難しい。

ヒゲナガサシガメ *Serendiba staliana* (Horvath, 1879)

2016年6月7日に武蔵野植物園で樹木のスウィーピングで確認された。腹部のへりや脚部の黄色が美しい細身のサシガメで、樹上に生息しているため目にする機会は少ない。また、山麓や丘陵地などで見られることが多く、都区内の自然教育園で確認されたのは貴重な記録と思われる。

アシマダラアカサシガメ *Haematoloecha rufescens* (Distant, 1883)

2015年10月23日に教育管理棟付近の喫煙所の樹木に付いていたのが確認された。アカシマサシガメに似るが本種は脚が赤と黒の縞になっており、個体数も少ない。主に林床や樹木の根際で活動しヤスデなどを捕食するが、目立たないためあまり見つからない種である。

アオオサムシ *Carabus insulicola* (Chaudoir, 1869)

2014年10月3日に武蔵野植物園で確認されたのをはじめ、年に0～数回確認されている。金緑色の美しいオサムシで、関東の低地で最も普通に見られるオサムシ。後ばねは退化して飛ぶことは出来ず、移動は歩行のみのため開発などで一度その地域で絶滅してしまうと新たな個体の流入は難しく、オサムシの仲間が生息しているのはある程度の環境が保たれているという指標にもなる。

かつては自然教育園内に多産したようだが近年ではかなり減少している。減少の原因は不明。ただ、2014年あたりから多少確認できるようになってきているため、少しずつ増加している可能性もある。

オオホソクビゴミムシ *Brachinus scotomedes* (Redtenbacher, 1868)

2015年7月31日に封鎖中の通称シイ並木で確認されたのをはじめ、夜間に林や池の周囲で歩き回っているのが確認される。ミイデラゴミムシの仲間であり、いわゆる「へっぴりむし」の一種。頭と首(前胸)は橙色で体は黒色、脚は黄色。危険を感じると非常に刺激臭のする高熱のガスを噴射する。個体数は少なくないが、夜行性のため昼間の調査ではほとんど確認されない。

シラホシハナムグリ *Protaetia brevitarsis* (Lewis, 1879)

東京都 RDB : 区部 EX

2015年7月10日にひょうたん池沿いで1頭が確認され、2016年にも更に1頭が確認された。シロテンハナムグリに似ているがやや幅広で脚が短く、頭楯が凹まず、胸部背面中央に点刻が少ないので、慣れれば見分けは容易である。近年、品川区などで外来と思われる個体の発生が多数確認されており、その分布拡大に伴って自然教育園でも得られたものと思われる。日本にも元々生息している種であるが、区部では古い記録はほとんどなく、また東京都レッドデータブックでも区部で絶滅扱いとされている。そのため園内で得られた個体も外来のものと思われる。園内で過去にも記録されているが、こちらはシロテンハナムグリの間違いと思われる（※普通種のはずのシロテンハナムグリの記録がない）。

また、2015年にはリュウキュウツヤハナムグリ奄美亜種の死骸（鞘翅のみ）も確認している。こちらも品川区を中心に分布拡大しているため、今後園内で確認される可能性も高く注意が必要である。

ユミアシゴミムシダマシ *Promethis valgipes* (Marseul, 1876)

2013年7月13日にひょうたん池沿いの枯木で確認されたほか、夏季の夜間に林内の枯木や衰弱木などに見られる。艶消し黒色で大型のゴミムシダマシだが、夜行性のため昼間に目撃されることはほとんど無く、調査でも夜間にのみ確認される。個体数はさほど多くはないが、夜間に枯木や衰弱木を見ていけば発見は難しくない。

ゲンジボタル *Luciola cruciate* (Motschulsky, 1854)

毎年5月下旬から7月上旬にかけてサンショウウオ沢で発生が確認されており、発生数調査を行っている。沢などの流水域に生息し、幼虫はカワニナを餌としている。成虫は梅雨時期に発生し、夜間に活動し、発光によって仲間同士でコミュニケーションを取る。

自然教育園内ではサンショウウオ沢で発生が確認されているが、個体数は減少傾向にあり要注意である。減少の直接の原因は不明であるが、沢自体が砂や泥が堆積して環境が変わってきていることが一因と思われる。

チャイロヒメハナカミキリ *Pidonia aegrota* (Bates, 1884)

2014年5月2日に現業舎付近で初確認され、その後は毎年園内で確認されている。体長1cmほどの黄褐色の小さなカミキリムシで、日影にある花を好んで訪花する。2015年・2016年とも多くの個体が見られたことから今後も確認が期待できる。サンショウウオ沢のミズキの花で多く見られたが、路傍植物園でも確認されている。ヒメハナカミキリ類は良好な自然環境の残る場所で多く見られるカミキリムシであり、都区内での記録は非常に稀で、自然教育園での確認は大変貴重な記録であると思われる。

クワカミキリ *Apriona japonica* (Thomson, 1878)

2015年7月24日に自然教育園の入口左手奥（一般園路外）にあるガラス室付近の桑に付いていた個体を確認しており、2016年にも別の地点の桑で1頭を確認している。灰黄褐色の比較的大型のカミキリムシで、ゴマダラカミキリより一回り大きい。クワの木の害虫であるがケヤキなども食害する。比較的普通種のカミキリムシであるが、園内での確認は稀である。

ヘリグロテントウノミハムシ *Argopistes coccinelliformis* (Csiki, 1940)

2016年5月31日に館跡付近のヒイラギの葉上で確認された。黒く艶のある丸い体に2つの紋があり、一見するとヒメアカボシテントウ等のテントウムシ類に見える小型のハムシ。危険を感じると発達した後脚で素早くジャンプし、そのまま飛翔して逃げる。ヒイラギなどを食害するため春～夏にかけて葉をよく見ていくと確認できる。小型のため目に付きにくいだが、注意して探すと都区内でもよく見られる。

オナガアゲハ *Papilio macilentus* (Janson, 1877)

2016年5月13日にいもりの池付近で確認されたほか、同年にもう1頭確認されている。有毒なジャコウアゲハに擬態しているとされており、翅型などの外見はよく似ているが本種の腹部は黒色で赤くならない。園内で多く見られるクロアゲハにも似ているが、本種の方がはねが細く、尾状突起が長い。園内では過去に多く確認されたこともあるようだが、近年の確認は稀。なお、黒い色のアゲハチョウは自然教育園では他にも数種確認されているので、目撃した種の確定には注意が必要である。

ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* (Klug, 1836)

2015年6月16日に、現在は一般封鎖中の通称シイ並木で1頭を確認している。黒色系アゲハで、腹部が赤いのですぐに分かる。はねは細く、♂は黒色で♀は灰褐色である。幼虫が有毒なウマノズクサを食べるため体内に毒を持っており、鳥などに捕食されにくい。園内では稀に目撃されているが、食草であるウマノズクサがほとんど見られないことから、偶然飛来したものと思われ、定着はしていないものと考えられる。

ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* (Hewitson, 1865)

2013年6月23日に水生植物園で確認されたほか、毎年確認されている。はねの裏面にさざ波模様のある橙黄色のシジミチョウで、ゼフィルスと呼ばれるグループの一種。初夏の一時期のみ姿を見られ、昼間にも見られるが夕方に梢を絡むように飛ぶ姿が確認される。以前は近縁のアカシジミよりも個体数は少なかったが、近年各地で本種が増加しており、自然教育園内でも確認数が増えている。一時的な増加なのか今後も増え続けていくのか、今後も経過を観察していく必要がある。

ホソオビヒゲナガガ *Nemophora aurifera* (Butler, 1881)

2015年5月7日にサンショウウオ沢で確認されたほか、2016年にも複数頭を確認している。非常に長い触角を持つ小型の蛾で、昼間に活動する。林縁などやや薄暗い場所で見られ、飛んでいると白い触角がフワフワと空中に揺れているのが目に付く。初夏にサンショウウオ沢周辺で見られるが、あまり目立つ種ではないので注意していないと気付にくい。

ウマノオバチ *Euurobracon yokohamae* (Dalla Torre, 1898)

東京都RDB：区部NT / 環境省RDB：NT

2013年5月10日にひょうたん池の付近で一度だけ確認された。体長2cmほどの橙色の蜂で、体の十倍近い非常に長い産卵管をもつ特徴的な種。シロスジカミキリの幼虫に寄生することが知られているが、近年の報告ではミヤマカミキリも宿主としていると言われている。自然教育園内でもミヤマカミキリは確認されており、おそらくそちらに寄生しているものと思われる。

ヒメウマノオバチ *Euurobracon breviterebrae* (Watanabe, 1934)

2016年7月20日に園路外の林内で観察された。前述のウマノオバチによく似ているが、産卵管は体長と同程度と短いため識別は容易。ウマノオバチと同じく寄生性の蜂だが、寄主ははっきり分かっていない。

なお、上記注目種のほか、水生植物園においてオオムラサキ・コムラサキの目撃があるが、前種は飛来可能な範囲に生息地はなく人為的な放虫であろう。コムラサキについては園外より飛来したものの可能性が考えられる。



ハグロトンボ



アオヤンマ



ゲンジボタル



チャイロヒメハナカミキリ



ウマノオバチ



ホソオビヒゲナガガ

## ま と め

東京都心に位置し、周辺の緑地から孤立した形で存在する自然教育園であるが、古くから開発されずに残ってきた緑地のため驚くほど様々な昆虫が生息している。幼虫が沢に生息するオニヤンマや照葉樹林の林床に生息するヒナカマキリ、環境の良い森に生息するチャイロヒメハナカミキリなど、都区内では稀となってしまった種やほとんど見られなくなってしまった種も確認されたことは驚きであり、非常に貴重な記録である。

自然教育園は、池周辺の整備や明らかな外来種などは駆除しているものの樹林地を中心とした植物の遷移については極力手を入れず自然に委ねている。かつては松などを中心とした庭園であったが、その後遷移が進みクヌギやコナラなどの落葉広葉樹が生え、現在はシイやカシといった常緑広葉樹が成長しつつある。また、サンショウウオ沢の底部の泥化など内部での環境変化はあり、開発等による消失はなくとも変化を続けている。その遷移や変化に伴い昆虫相も少しずつ移り変わっていくものと思われ、今後も継続した調査が望まれる。

末筆になるが、調査の機会を与えて下さり、様々な便宜を図っていただいた自然教育園の矢野亮氏、ほか職員の方々に深く感謝の意を表する。

## 引 用 文 献

- 尾園暁・川島逸郎・二橋亮. 2012. ネイチャーガイド 日本のトンボ. 文一総合出版.  
須田真一. 2002. 自然教育園のトンボ類. 自然教育園報告, (34): 107-130pp.  
村井貴史・伊藤ふくお. 2011. バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑. 北海道大学出版会.  
林正美・税所康正. 2011. 日本産セミ科図鑑. 誠文堂新光社.  
上野俊一・黒澤良彦・他. 1984-1986. 原色日本甲虫図鑑 II-IV. 保育社.  
コガネムシ研究会. 2005-2011. 日本産コガネムシ上科図説 I-III 昆虫文献 六本脚.  
大林延夫・新里達也. 2007. 日本産カミキリムシ. 東海大学出版会.

## 参 考 サ イ ト

- 東京都本土部昆虫目録 作成プロジェクト: <http://tkm.na.coocan.jp/index.html>  
関東を中心とした地表性徘徊甲虫: [http://hyoka.nenv.k.u-tokyo.ac.jp/ground\\_beetle\\_zukan/](http://hyoka.nenv.k.u-tokyo.ac.jp/ground_beetle_zukan/)  
みんなで作る日本産蛾類図鑑: <http://www.jpmoth.org/>

